



栃木県立宇都宮工業高等学校 創立100周年記念事業 — 協賛のお願い —



栃木県立宇都宮工業高等学校

2011年JR雀宮駅東に移転した新校舎

OPEN



「一人は一校を代表す」



宇工創立100周年記念事業実行委員長

渡邊 勇雄

ご挨拶

同窓会員並びに関係者の皆様には、ますます御清祥にて御活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素から宇都宮工業高等学校の発展のために、格別の御支援と御協力を賜り深く感謝申し上げます。さて、母校は、令和5年に創立100周年を迎えることとなりました。顧みますと、大正12年4月、栃木県立宇都宮工業学校として創立され、のちに栃木県立宇都宮工業高等学校と改称し、平成23年に京町の旧校舎から雀宮町の新校舎へ新築移転し現在に至っております。教訓「一人は一校を代表す」の伝統精神の下、今日まで地域社会を始め各方面にわたり三万余名の有為な人材を輩出しております。各分野での同窓生の目覚ましい活躍は、誠に慶賀の至りであり、「宇工」として確たる歩みを記して参りました。

この度、100周年の節目を迎えるにあたり、後進の育成と母校のさらなる発展を願い、同窓会、PTA、学校が一体となって創立100周年記念事業実行委員会を設け、別紙のような記念事業を計画いたしました。これらの事業を実現するにあたり、令和3年10月18日、第1回創立100周年記念事業実行委員会を開き、事業の確認と募金目標を決定し、募金活動を実施することになりました。厳しい経済状況の折、誠に恐縮でございますが、母校発展のため各位の御賛同と格段の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

創立100周年記念事業計画

学校記念事業費	1,220万円
募金募集費用	620万円
100周年記念誌	660万円
計	2,500万円

■学校記念事業費

100周年という大きな節目にあたり、これまでの宇都宮工業高等学校の歴史を振り返り、栃木県内で唯一の科学技術高校として、今後の将来を考え、グローバル（国際的）な視点を持って、ローカル（地域）社会をけん引するグローバル・リーダーを育てていくことに重点を置き、右記の7つの教育活動を支援する。

- ① 宇工版「宇都宮未来都市構想」（7学科連携プロジェクト）
- ② 「鹿沼組子耐力壁」品質性能検証
- ③ ボンネビルスピードウィークへの挑戦（企業と連携し50cc世界最速を目指す）
- ④ 100周年記念宇工祭
- ⑤ 学習支援（主として定時制の大学進学奨学金）
- ⑥ 全国大会出場支援
- ⑦ オンライン交流学習

■創立100周年記念事業 実行委員会

実行委員長（同窓会長）： 渡邊 勇雄 副委員長（PTA会長）： 若林 昌幸 副委員長（校長）： 菅野 光広

募金計画

一、募金目標額	2,500万円
一、募金額	同窓会員 一口5千円（できれば二口以上をお願いします。） *コンビニエンスストア専用は払込額が1万円定額となります。 *企業様は別途の手続きとなりますので実行委員会までご連絡ください。 *六口3万円以上を寄付いただいた方には記念誌を贈呈いたします。
一、募金期間	2021年12月～2022年8月まで（その後のお振込みも受付けております。）
一、払込方法	①郵便払込取扱（使用期間はありません。手数料不要）
一、問合せ先	②コンビニエンス等用払込 （2021年12月～2022年8月までのご使用となります。期間が過ぎますとご利用になれません。） 栃木県立宇都宮工業高等学校創立100周年記念事業実行委員会 TEL.028-678-6500 FAX.028-678-6600 担当/高橋

■会員情報修正のお願い お送りしたご氏名、ご住所または勤務先の変更がある場合は同窓会ホームページ
Ukou-dousoukai-uths.jp から変更の手続きをお願い致します。